

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	坂田ヶ池総合公園		
指定管理者	NPO法人成田坂田ヶ池の友		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日	～ 平成 33 年 3 月 31 日	2 年目
施設所管課	都市部	公園緑地課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	—	—
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
個人情報保護に関する規程が整備されているか		A	A	
情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか		A	A	
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
その他				
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A		
指定管理者の自己評価	施設・人員・利用料金・外部委託は、適正に管理を実施した。記録及び報告・連絡体制については、日々の作業内容の記録、月1回の定例報告を実施しており、その他の情報交換もその都度行った。利用者に関する個人情報も厳重に管理し、外部に漏れないように注意を払った。			
施設所管課の評価	遊具を始めとする施設の日常点検や定期点検は滞りなく実施されており、また、施設運営に係わる懸案事項に関しては、市側との情報共有を随時行っており、管理体制は良好と判断する。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか		A	A	
備品台帳により記録が適切に保管されているか		B	B	
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		B	B	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		A	A	
その他				

指定管理者総合評価シート

様式 4

評価する評価	【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A
	指定管理者の自己評価	公園の利用者は年間11万人を超える特にキャンプ場の利用者、園児の遠足、遊具遊びの来園者が多い。利用者からの苦情等については、現場に出向き、その都度対応を図った。利用者のアンケート(セルフモニタリング:100組)を実施し、施設管理の高い評価を得た。また、外部モニタリングを導入し、運営に関する適正な評価(達成度評価3.8/5)を得た。	
	施設所管課の評価	独自のアンケートや外部モニタリングを積極的に実施し、改善点の把握に努めていた。また、国内外の利用者への対応が親切であるとともに、餅つき大会など多くの自主事業を開催し、集客数の増加に努めていた。	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
III 收支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減 その他	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
【総括 III】	收支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 6 項目)	A		
指定管理者の自己評価	経理は、「現金・預金残高日報」を作成し、月1度会計事務所に持参し月毎の決算を実施した。また、NPOの性格上、予算執行に十分な注意を払い、最小限の利益に留めた。			
施設所管課の評価	特定非営利活動に係わる事業及び他の事業の内訳については、事業報告等により適正な経理の執行を確認した。また、毎月の定例会議の際、予算の執行状況に関する前月との比較表を確認することができた。			

評価項目	評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価	
IV 目標管理に関する評価	目標①	多くの人に利用していただく。(来園者数)	50,000人/年・延	A	A
	目標②	イベント実施	5回/年	A	A
	目標③	作業効率の向上(2%)-->新規・レベルアップ作業の展開	40万円/年	A	A
	目標④	経費支出削減(1%)-->消耗品節約、省エネ、外注経費削減	20万円/年	A	A
	目標⑤	健全経営≡損益ゼロ(委託費フル消化-->サービス最大化)	利益率0.05%以下	A	A
	【総括 IV】	目標管理に関する評価(標準 5 項目・本施設 5 項目)	A		
指定管理者の自己評価	公園利用者の向上(キャンプ場利用者、遠足や家族連れでの遊具遊び)及びイベントの定着化(風と遊ぶ会・七夕飾り試作講座・自然観察会・盆踊り大会・いも堀大会・正月飾りもちつき大会)とキャンプ利用者の要望に基づき薪の提供を実施し、来園者の増加と収入増を図った。				
施設所管課の評価	自主事業を7回ほど実施しており、子供から高齢者まで幅広い年代が参加しており、好評を得ていた。今後も継続して実施して頂きたい。				

V	【総合評価】	I～IVの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

VI 特	特に評価される点	修繕箇所に対して積極的に対応しており、園内の安全確保に努めていた。また、多くの自主事業の開催を始め、きめ細かいサービスを実施し、来園者の増加が実現できた。
---------	----------	---

記事項	改善が望まれる点	木製遊具や施設の日常点検に関して、点検表を活用するなどし、更なる安全確保に努めて頂きたい。また、ホームページの開設を検討していただき、より一層親しみやすい公園としての周知をお願いしたい。
-----	----------	---